

一般質問

◆産業振興について

質問 プレミアム商品券の購入対象者を市外・県外に拡充し本市の活性化を図るべきと考えますが、今後の展開について伺う。

答弁 まずは市民生活への支援に重点を置いている。今後は市内消費の向上に向け、キャッシュレスのポイントバックなどの施策について検討していく。

質問 農業、伝統産業などの担い手不足について伺う。

答弁 農業体験や地域の産業を体験できるような取組を行っている。学校では、総合学習等で地域の産品を販売する疑似的な体験も実施しており、将来の雇用に繋がるよう取り組んでいる。

◆地域コミュニティについて

質問 持続可能な地域コミュニティの実現に向けた取組について伺う。

答弁 人口減少やコロナ禍によつて衰退傾向にあるコミュニティを回復するため、地域主体となったまちづくりを支援し、コミュニティの維持・強

化に取り組んでいく。

◆ゼロカーボンシティ宣言について

質問 地域の活性化や地域に貢献できるメリットを見出す必要があり、長期的な計画は今から取り組む事が重要である。バイオマス発電やもみ殻ガス化発電などを導入し、公共施設等の電力の地産地消を進めるべきと考えが見解を伺う。

答弁 今後もゼロカーボンの価値は高まっていく。地熱を最大限に活用しながら取組を進めていくが、太陽光や小水力・バイオマス発電なども是非取り入れたい。民間事業者と市が一体となり進めていきたい。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆地熱発電について

質問 地熱発電所の稼働により、市民からは安価な電気料金の要望がある。当市でも公営企業や新たな会社の設立をもつて、電気小売り事業者を目指せないか伺う。

答弁 電気料金の流れは、発電事業者から送配電事業者を経由してスポット市場価格で決定される。更には非化石証明料金が加算されるため安価な料金体制の構築は大変難しいと考えている。

質問 鳥谷MS2号井の今後の利用方法について伺う。

答弁 令和8年には、カタツムリ山発電所が稼働する。それまでに返還後の有効利用についてバイナリー発電等を含め鋭意検討していく。

◆小水力発電について

質問 当市は急峻な水脈が多数あり小水力発電には有利な地である。特に皆瀬地域には整備済の水路などがあり、低コストで設置可能と考えるがどうか。

答弁 今まで特に特化して検討はしていない。今後調査、検討



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆バイオマス発電について

質問 燃料の輸送コストの軽減が期待される当市では、バイオマス発電への期待は大きいと考える。今後、進めていくことが有効と考えるかどうか。

答弁 現在、民間事業者からの問い合わせもあり検討中である。

質問 鳥谷MS2号井のバイナリー発電や小水力発電設備で水を製造。燃料電池で発電し、EV車に充電するなど、ゼロカーボン先進地モデルを目指すべきではないか伺う。

答弁 関連する装置も進んでいるため、社会情勢を勘案しながら検討したい。